

異業種コラボ「恋 AI パン」「AI(愛)のプリン」事例にみる AI 商品開発の可能性

NEC Generative AI Hub
リードデータサイエンティスト
志村 典孝



目 次

概要	1
はじめに	1
1. AI 商品開発の事例	2
(1) 飲める文庫	2
(2) あの頃は CHOCOLATE	4
(3) 人生醸造 craft	9
(4) ANDCHESTRA	11
(5) AI (愛) のプリン	12
(6) 恋 AI パン	15
2. AI 商品開発のメリット	18
(1) WOW!を生み出せる	18
(2) 人間のクリエイティビティを刺激する	18
(3) メディア露出による広告効果	19
おわりに ～今後の AI 活用の展望～	19

概要

近年、AI 技術は急速に発展し、私たちの生活や産業のあらゆる分野に変革をもたらしています。この中でも、商品開発とテクノロジーの融合は新たな可能性を開拓し、未知の領域への扉を開けています。本講演では、AI を活用して過去にないコーヒー・チョコレート・クラフトビール・楽器・プリン・パンなどの商品開発をしてきた NEC が、これらのプロジェクトを通じて、人間の創造力と AI の力がどのように融合し、新たな顧客体験を生み出しているのかを紹介し、これからの商品開発に AI がどのように活用されていくのかを推察します。

はじめに

NEC の AI と私たちが目指しているスローガンとして、「AI を一人ひとりの幸せのために。AI Analytics for Good」という言葉を掲げています。AI は世の中のさまざまなことを効率化し、便利にしてきました。私たちはさらに、NEC の AI を、一人ひとりの幸せのために、役立てていきたいと考えています。身近にある社会問題を一つずつ解決しながら、誰もが笑顔で過ごせる世の中を目指しています。

電機メーカーのイメージが強い NEC が、AI で作ったプリンやパンなどの食品を発表すると、たくさんの人たちから驚きの声をいただきます。子供の野菜嫌いや、若者の恋愛離れなどの社会課題を AI で解決するといった取り組みによって、AI は人間の仕事を奪うような脅威的な存在ではなく、ときに人にインスピレーションを与え、ときに面倒なルーチン作業を手伝ってくれながら、私たちの様々な仕事に伴走してくれるアシスタント的な存在になり得るということを知って欲しいと考えています。

業務効率化という側面では AI が活用されるシーンが増えてきましたが、商品開発のようなクリエイティブな業務にこそ、もっと AI は活用できる可能性を秘めています。今日のお話が商品開発やマーケティングに携わっている皆様の一助になれば幸いです。

1. AI 商品開発の事例

(1) 飲める文庫 (2017 年)



NEC とコーヒー豆専門店の株式会社やなか珈琲のコラボレーションにより、名作文学の読後感をコーヒーの味わいで再現したブレンドコーヒー「飲める文庫」を開発しました。

「飲める文庫」の開発の流れ

1. NEC のデータサイエンティストが、文学作品に関する 1 万件以上のレビュー文（読後感）をコーヒーの味覚指標（苦味／甘味／余韻／クリア感／飲みごたえ）に変換した学習データを作成。
2. NEC のディープラーニング技術を搭載したソフトウェア「NEC Advanced Analytics - RAPID 機械学習」に学習データを投入し、分析モデルを作成。
3. 分析モデルを用いて 6 点の名作文学のレビュー文を分析し、味覚指標のレーダーチャートをそれぞれ作成。
4. 作成されたレーダーチャートをレシピとして、やなか珈琲の職人が 6 種のブレンドコーヒーを考案・開発。